

# 競 技 規 定

## 1. 競技規則について

本大会は、2015 年度日本陸上競技連盟規則及び大会申し合わせ事項により実施する。

## 2. ウォーミングアップについて

開門 7:00 主競技場使用許可時間(トラックのみ) 7:30～8:30

## 3. 招集、点呼について

(1) 招集場所は、バックスタンドの第 3 コーナー出入口付近の雨天練習場に設ける。

(2) 招集時間

|          | 招集時間  | 完了    |
|----------|-------|-------|
| トラック 競 技 | 30 分前 | 20 分前 |
| フィールド競技  | 50 分前 | 40 分前 |
| 棒高跳      | 70 分前 | 60 分前 |

※明らかに棄権とわかっている者は、棄権届けを 9 時までに、本部へ提出すること。

※砲丸投の投てき練習については、定められた時間のみ、補助競技場ピットで行なう。

競技開始 1 時間 30 分前から招集開始時刻までとする。

本競技場での投てき練習は、2 本の練習を確保する。

(3) リレー種目のオーダー用紙は、予選・決勝とも招集完了 1 時間前までに招集所に 1 部提出すること。

招集時間はトラック競技招集時間と同じとする。

(オーダー用紙は招集所にも用意する)

(4) 招集完了後は直ちに入場するので、招集完了者はその場で待機すること。

尚、競技場内への移動は、役員もしくは係りの者の誘導に従い中学生競技者としての自覚を持ち規律ある行動をとること。

※棒高跳については、競技開始 60 分前から本競技場での練習を認める。選手の誘導はしない。

## 4. 競技運営について

(1) 各県委員長以外はグラウンド内への出入りを禁止する。

(2) トラック競技は全て写真判定装置を使用し、1/100 秒で計測する。

(3) 予選におけるトラック競技のレーン、フィールド競技の試技順はプログラム記載の左側の番号で表す。

(4) 400m 以下のトラック競技については第 1 レーンを使用しない。

(5) 800m までのトラック競技は[3 組 2 着 + 2]を採用するが、1/100 秒まで同記録の場合は、1/1000 秒まで記録を判定し、着差があれば着順を決定する。着差がない場合は本人(もしくは監督)による抽選とする。

(6) 4×100mリレーの第 2・3・4 走者は、主催者が用意するマーカーを使用することとするが、各チームが用意したテーピングテープでも可とする。長さは 50mm×400mm 以内とする。

(7) 短距離種目では安全確保の為、フィニッシュライン通過後も自分のレーン(曲走路)を走ること。

(8) 800m のスタートはレーンを使用し、第 2 コーナー出口(黄色の旗)よりオープンとする。

(9) 走高跳・棒高跳のバーの上げ方について

|         | 練習   |      |      | 開始   |      |      |      |               |
|---------|------|------|------|------|------|------|------|---------------|
| <男子走高跳> | 1.60 | 1.75 |      | 1.65 | 1.70 | 1.75 | 1.80 | 以降 3 cm刻みとする  |
| <女子走高跳> | 1.35 | 1.50 |      | 1.40 | 1.45 | 1.50 | 1.55 | 以降 3 cm刻みとする  |
| <男子棒高跳> | 3.00 | 3.50 | 4.00 | 3.20 | 3.40 | 3.60 |      | 以降 10 cm刻みとする |

状況に応じて練習の高さは審判長が変更する場合もある。

1 位を決定するためのバーの上げ下げは、走高跳で 2 cm、棒高跳で 5cm 刻みとする。

(10) フィールド競技においては時間制を採用する。(各種目 1 分 00 秒)

(11) 器具については、競技場備え付けのものを使用する。ただし、棒高跳のポールの検査については、競技開始前にピットにおいて跳躍審判が行う。

(12) 競技者に対する助力については、競技規則第 144 条②の項を適用する。

(携帯電話・音楽等を聴く機材の競技場内への持込禁止)

(13) 抗議は競技規則第 146 条にしたがって、各県の委員長を通じて行う。

尚、抗議の受付はメインスタンド1階本部席とする。

# 注 意 事 項

1. 全天候競技場につき、スパイクの長さは9mm以内とする。
2. トラック競技の決勝種目については、スタート地点で脱いだ衣類等は指定されたものに入れること。  
衣類等はフィニッシュ地点に係員が運搬する。  
(フィニッシュ地点がスタート地点の競技及びリレー競技は除く)  
選手はフィニッシュ後、ただちに表彰席に集合のこと。
3. ナンバーカードは配布されたままの大きさをユニフォームの胸背部に確実に固定すること。  
尚、走高跳・棒高跳の競技者は、背部または胸部のみでもよい。  
トラック競技に出場する競技者は、腰ナンバーカード標識を招集時に受け取り、ランニングパンツ右側の上部やや後方につけること。
4. 開会式には競技者としてふさわしい服装で全員参加のこと。ただし、競技時刻 10:30 までに行なわれる種目に出場する競技者は参加しなくてもよい。
5. 表彰は、1 位～8 位の入賞者に行うので、競技終了後ただちに本部表彰控席に集合すること。
6. トラック競技の決勝進出者については、アナウンスするとともに記録掲示板(2F)及び招集所掲示板に掲示する。
7. 大会当日、競技中の競技者に病気又は障害が生じた場合は応急処置を行うが、それ以後の責任は負わない。
8. 会場内での注意事項
  - ・走り終わった選手は、スパイクを脱ぎ、スタンド下の通路を通り移動すること。
  - ・移動の際、本部席前は通らないこと。
  - ・チームで出したゴミは、全て持ち帰ること。持ち帰れないゴミは所定の場所に置くこと。
  - ・集団での応援はスタンドにおいては慎むこと。
  - ・横断幕、部旗及びのぼり旗等の設置については、バックスタンド中央及び後部フェンス、芝生スタンド上部フェンスのみとする。  
(ガムテープ・テーピングテープなどは絶対に使用しないこと。)
  - ・テント(タープ類の簡易テントも含む)の設置は、危険防止の為、バックスタンドと芝生スタンドのみとする。
  - ・防水塗装保護の為、2階通路上にベンチを設置する場合、粘着テープや傷をつける可能性のあるブロックや石などを使用しないこと。
  - ・男・女更衣室は使用してもよいが、貴重品は、各自の責任で管理すること
9. 商標について
  - ・競技場内に商標のついた衣類・バック等を持込む場合は、以下の規定を守ること。
  - ・上半身の衣類・・面積 30 ㏎m<sup>2</sup>以内の長方形、文字は縦 4 ㏎以内、ロゴ全体で縦 5 ㏎以内 1 ヶ所
  - ・下半身の衣類・・面積 20 ㏎m<sup>2</sup>以内の長方形、文字は縦 4 ㏎以内(ロゴを含む)1 ヶ所
  - ・バ ッ ク・・面積 25 ㏎m<sup>2</sup>以内で、ロゴは 2 ヶ所までとする。
  - ・競技役員に指摘された場合は、その指示に従う。

- ・国際陸上競技連盟憲章第 18 条及びその付則各項による。

#### 10. 補助競技場使用の注意事項

- ・ジョッグ及びウォーキングは、フィールド内の芝生を使用し、走路を使用しないこと。
- ・内側の 1・2 レーンは、長距離のペース走専用とする。
- ・内側の 3～6 レーンは、流し等の専用とする。
- ・外側の 7・8 レーンはハードル専用とする。

○跳躍種目の練習は所定のピットで行う。

○投てき種目の練習は指定時間、場所で行うこと。

○走路及びピットに立ち止まっの指導等をしてはいけない。

○走路は左回りとし、逆走は禁止する。

○走路及びピット等を横切るときは衝突事故に気をつけ、速やかに渡ること。

○その他審判員の指示に従うこと。

#### 11. 雨天練習場については次のことを厳守すること。

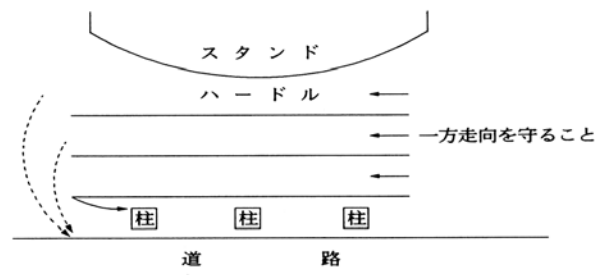
○内側の 1 レーンは、ハードル専用とする。(雨天時のみ)

○外側の 2 レーンは、流し等の専用とする。

○走路の横断は禁止する。スタンド及びサブトラックへの移動は、走路に沿って移動し、招集所及び第 2 ゲート付近から横断すること。

○衝突事故防止の為、晴天時のスターティングブロックの設置を禁止する。

○オールウェザー部分をチームのベンチにすることを禁止する。



○雨天時には混雑が予想されるので、係員の指示に従い、互いに譲り合ってケガのないように使用すること。